



田丁のわたい

今月の題字 川村 柚華さん（豊間根小5年）



豊間根小学校の5年生が被災地支援 育てたお米販売し売上金を被災地へ

3月6日、豊間根小学校(富澤^{ひろこ}広子校長、児童124人)の5年生17人は、授業で集めた能登半島地震義援金を佐藤信逸町長に手渡しました。これは、被災した人たちの力になりたいと考えた児童らが、毎年行っている自然体験学習の授業で育てたお米約100kgを保護者へ販売し、その売上金を義援金として送るものです。佐々木優輝さん(5年)は「今もつらい思いをしている人が多いと思う。この義援金を活用して、被災地の皆さんが早く普段通りの生活を送れるようになってほしい」と被災地への熱い思いを語りました。

東日本大震災から13年 冥福祈り震災伝承誓う

東日本大震災から13年目を迎えた3月11日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自由献花方式としていた東日本大震災・大津波山田町犠牲者追悼式が3年ぶりに町中央公民館大ホールで執り行われ、参列者ら約300人が来場しました。震災が発生した午後2時46分に合わせて黙とうをささげた後、佐藤信逸町長が「二度と津波による犠牲者を出さないために安全と安心を実感できるまちづくりに注力します」と式辞。参列者は献花台に花を手向け、犠牲者の冥福を祈りながら震災の記憶を風化させないよう後世に伝承していくことを誓いました。



コーラス泉の会60周年記念コンサート 透明感あふれる歌声で観客を魅了

コーラス泉の会(豊間根^{なりこ}成子代表、会員21人)の60周年記念コンサートが、2月11日に町中央公民館大ホールで開かれ、町民約600人が来場しました。当日は、同会が童謡や愛唱歌を披露し、透明感あふれる歌声で観客らを魅了したほか、特別ゲストとしてソプラノ歌手の河村右さんやピアニストの石川和男^{かずお}さん、町内出身でテノール歌手の澤田薫^{かおる}さんが、美しく力強い歌声や演奏で会場を沸かせました。最後には、「花は咲く」と「ふるさと」の2曲を出演者と来場者で合唱。会場ではステージと客席の一体感が生まれ、温かく楽しい空気が広がっていました。

